

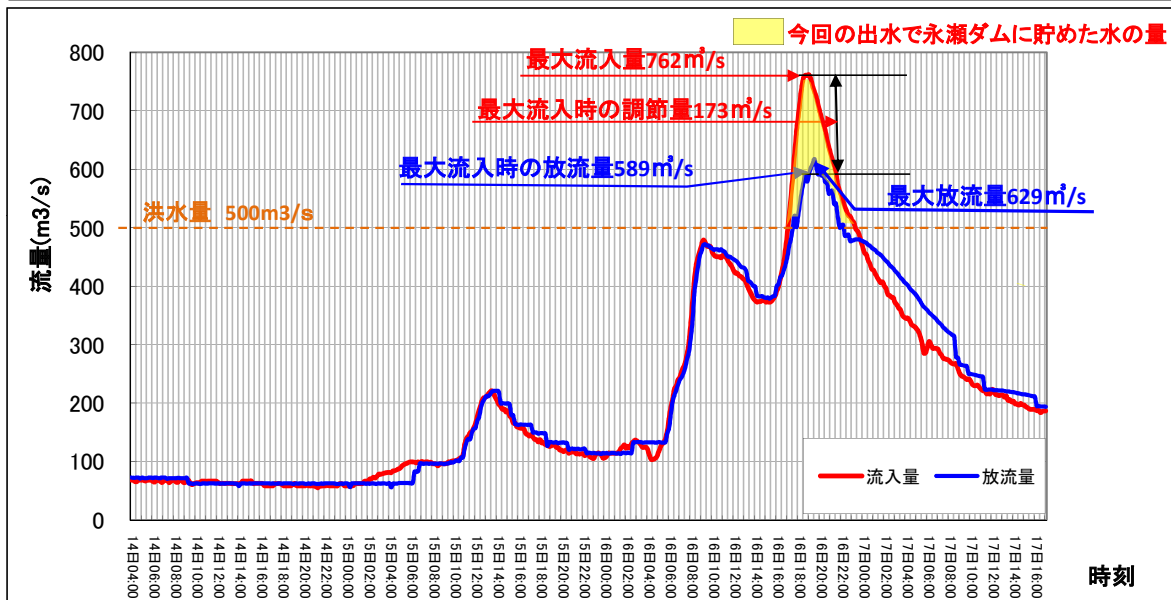
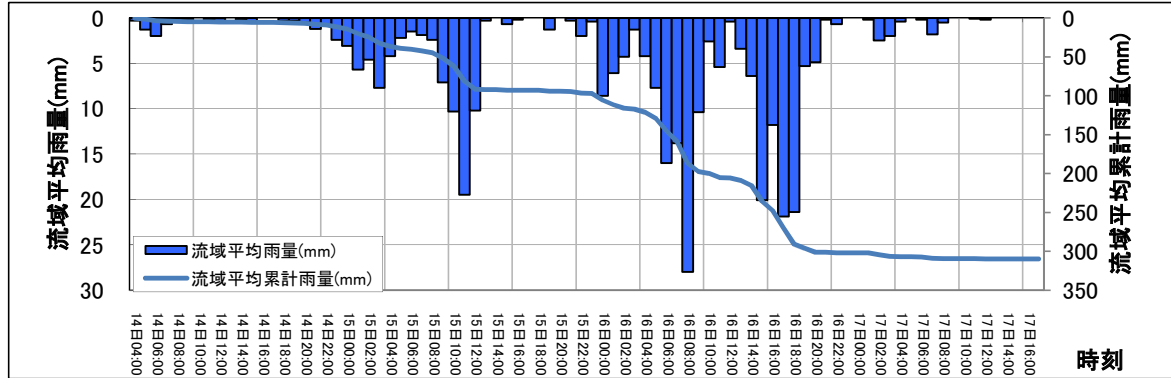
平成26年8月16日～8月17日 永瀬ダム(高知県 ダム)における洪水調節の効果について

● 洪水概要

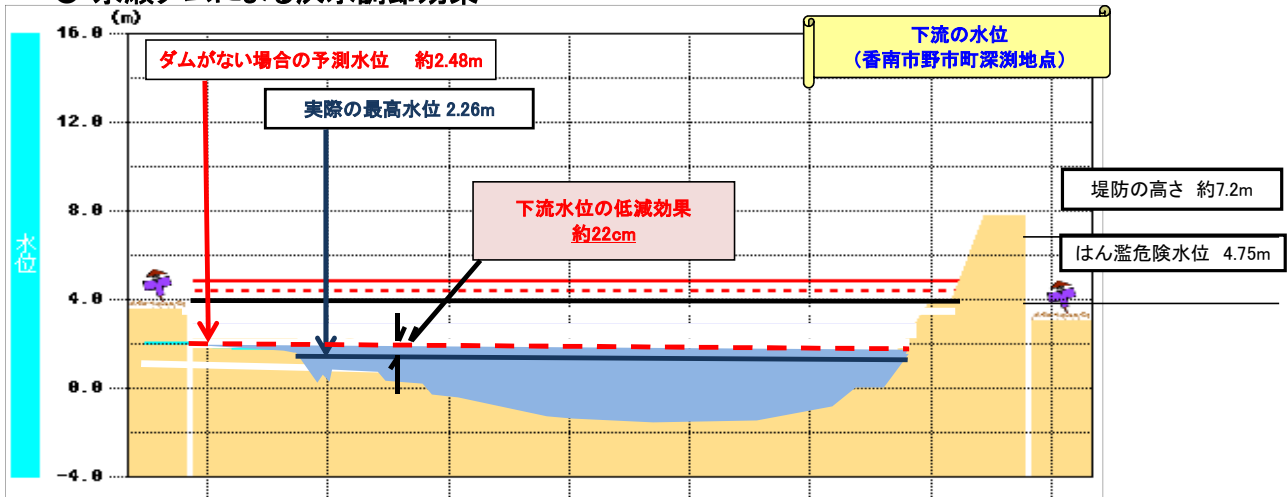
西日本に停滞する前線へ南から暖かく湿った空気が流れ込み、永瀬ダム地点で、8月14日4時～8月17日12時にかけて累計304mm(8月16日17～18時に時間最大28mm)の降雨が観測されました。永瀬ダムでは、ダムへの最大流入量毎秒762m³の22%を貯留し、ダムからの放流量を毎秒589m³に低減しました。この操作により、ダム下流の深淵水位観測所において今回の大雨による河川の最高水位を約0.22m低減させたと推定されます。



● 永瀬ダム洪水調節図



● 永瀬ダムによる洪水調節効果



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。